



# 鹽竈十福

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号  
 志波彦神社  
 鹽竈神社 社務所  
 電話 〇二二(三六七)一六一(代)  
 FAX 〇二二(三六五)五五三〇  
<http://www.shiogamajinja.jp/>



三月十日。「陸奥に春の訪れを告げる帆手祭」と新聞やニュースで謳われる。神輿に供奉(お供)する者は、祭りの一週間前より、当社禊場にて禊をする習わしがある。三月の朝は、寒風吹きすさぶ時や雪の降る事も多くなる。年三回の神輿渡御の中でも、大寒禊に次ぐ一際厳しい禊である。清められたであろう心身を以て奉仕を終えると、徐々に日和は暖かくなっていく。

近年は、温暖化によるものなのか、桜の開花時期も年々早まりつつある。

伊勢物語第八十二段で在原業平が次のように詠んだ。

『世の中にたえて桜のなかりせば』

春の心はのどけからまし』

現代語訳すると「世の中に桜がなければ、のどかに春を過ごせるのに」。著名歌人の解釈によれば「いつ咲くのが気にかかり、いよいよ咲くと、いつ散るのかと心乱される。人々がどれほど桜に心を奪われるのか」と。

当社境内を彩る桜は、国の天然記念物である鹽竈ザクラを始め約四十品種に及ぶ。夫々の美しさや開花時期も様々故に、境内そこかしこに桜が咲き、長い期間にわたり愛でる事が出来る。

今年も、神の御許に咲き誇り、人々の心を和ませるだろう。



# 第七十六回奉献乾海苔品評会

一月十一日、第七十六回奉献乾海苔品評会が開催されました。

本品評会は、宮城県産海苔の品質改善と生産者の意欲向上を目的として昭和二十三年より開催されています。

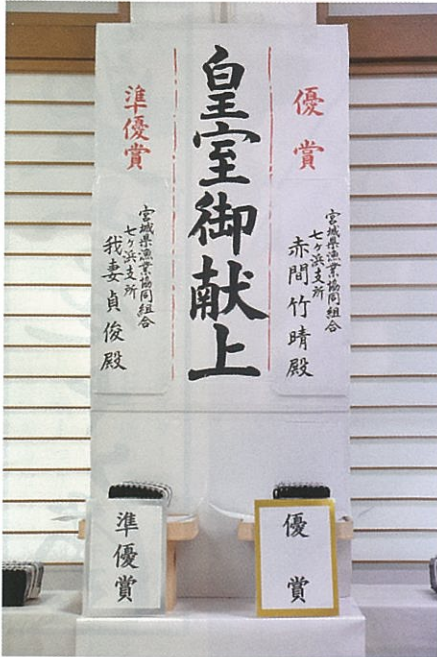
今回は、十月から十一月にかけて栄養塩不足により色落ちや生育不良が見られました。その後漁業環境が回復し、高品質の乾海苔が生産されました。

県内各地より九十二点の乾海苔が出品され、一月六

日に宮城県漁業協同組合及び関係自治体の担当者により厳正な審査が行われ、優賞（宮城県知事賞）に赤間竹晴殿、準優賞（塩竈市長賞）に我妻貞俊殿、ほか六十一名が入賞を果たしました。

当日は鹽竈神社左右宮で感謝祭が斎行され、祭典後表彰状・記念品が贈呈されました。

出品された乾海苔は、祭務所に展示され、参拝者は宮城県が誇る「みちのく寒流のり」の色・艶・香りを堪能していました。



## 入賞者 (敬称略)

### 優賞(宮城県知事賞)

代ヶ崎浜地区 赤間 竹晴

### 準優賞(塩竈市長賞)

東宮浜地区 我妻 貞俊

### 志等賞(東松島市長賞ほか)

代ヶ崎浜地区 齋藤 吉勝

代ヶ崎浜地区 相澤 良弘

代ヶ崎浜地区 相澤 栄喜

仙南支所(巨理) 菊地 幹彦

仙南支所(巨理) 仙南支所(巨理)

宮戸 あらしま海苔合同会社

宮戸 千葉 富夫

### 式等賞(全国漁業協同組合連合会長賞ほか)

仙南支所(巨理) 木村 宏

宮戸 門馬 幹彦

宮戸 菊地 勇

宮戸 千葉 政敏

宮戸 尾形 一彦

矢本 三浦 義孝

矢本 阿部 雄美

石巻 阿部 雄美

### 技術賞(東北海苔問屋協同組合理事長賞ほか)

代ヶ崎浜地区 坂本 寿

東宮浜地区 星 長一

### 要害地区

仙南支所(巨理) 梶田 利一

鳴瀬 津田 雅彦

鹿野 拓洋

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

宮戸

### 奨励賞

松ヶ浜・湊浜地区 大町 昭

菖蒲田浜地区 伊丹 幸一

菖蒲田浜地区 佐藤 充

花刈浜地区 寺澤 善公

吉田浜地区 佐藤 建一

吉田浜地区 鈴木 信悦

代ヶ崎浜地区 榎恵比寿

代ヶ崎浜地区 名村 朝洋

東宮浜地区 佐藤 俊勝

要害地区 内海 勇一

塩釜地区 石田 信英

宮戸 門馬 隆

宮戸 相澤 太

宮戸 及川 輝明

宮戸西部 尾形 和秀

宮戸西部 尾形 秀一

宮戸西部 山内 良裕

石巻湾 丹野 薫

産業功労賞

代ヶ崎浜地区 山崎 浩樹

ほか十名

二月二十日には優賞・準

優賞の乾海苔を御所・秋篠

宮邸・常陸宮邸へ献上いた

しました。



# 節分祭追儺式

二月三日と四日、一年の厄災消除・家内安全を祈願する節分祭追儺式が齋行されました。

鹽竈神社別宮・左右宮の両拜殿と文治燈籠横に設置した特設舞台より豆撒きが行われ、多くの参拝者が福豆を手にしていました。

節分祭の齋行にあたって御協力を賜りました御来賓、奉仕者代表、ほか御協賛いただいた皆様を紹介いたします。

(敬称略)



## ◆御来賓

三日 伊達家第十八代当主

伊達 泰宗

塩竈市長 佐藤 光樹

宮城県議会議員 阿部 眞喜

塩釜警察署長 高嶋 文智

## 四日

環境大臣 衆議院議員

伊藤信太郎

塩釜警察署 副署長 半澤 健二

## ◆年男・年女代表

三日 栗原 英悦・伊藤 久美

四日 速水 一広・速水 和江

## ◆福景品協賛者

(敬称略・順不同)

榊菅原園茶舗・塩釜市商業協同組合・福寿司・ライフ&ファッショントかはし・郷家第三歯科医院・漢方の塩釜芍薬堂・小松館好風亭・稲庭うどん瀧さわ家・(株)ピーシツク・救心製菓(株)仙台営業所・クラシエ薬品(株)・ダイワ生物研究所・日本クリ

ニツク(株)仙台営業所・ムサシノ製菓(株)バイタルネット・(株)柳川商店・フランス料理レストランシエ・ヌー・(株)白寿殿・(株)白寿殿 大友義雄・松和産業(株)・塩釜地方卸売市場・(株)ごんきや・(有)今野商店・(有)宮本商店・宮本産業(株)・第一生命保険(株)塩釜営業オフィス・大場酒店・(有)たかせさとし美容室・ひとの和はり灸整骨院・プリンス食品(株)・セブナイレブン多賀城大代5丁目店・(株)エンドーグループ・仙台水族館開発(株)・星のり店・合同会社フルイール・(株)澁谷商店・春日屋商店・鈴木 孝彦・写真屋さん21・(有)松野・水野水産(株)・コカ・コーラボトラーズジャパン(株)・勝山水産(株)・(株)佐々勘商店・(株)ヤマス蒲鉾店・(株)松島蒲鉾本舗・顔晴れ塩竈・菓匠築太楼・(株)東日本ソルト仙台営業所・東陽防災設備(株)・塩釜ガス(株)・シヨツプサトー・(株)北浜フード・(株)八百大・(株)直江商店・キクニ(株)・すし哲・日野不動産建築設計事務所・矢部園・

(株)石井商店・進藤正毅・えびすや釣具店・(株)阿部善商店・丹六園・(株)ヨークベニマル塩釜店・大黒寿司・(有)増友商店・蜂屋食品(株)・丸勝会館・阿部勘酒造(株)・(株)佐浦・和食の小島・(株)鈴忠・武田の笹かまぼこ・いな長・(株)でん六仙台支店・仙台味噌醬油(株)・(株)小西美術工芸社・(株)松田製粉・日本住宅(株)・マルマ佐々木水産(株)・(株)一ノ蔵・(株)阿部電工・柴崎屋・マルミ東商店・(株)塩釜マルサ・宮城県美容業生活衛生協同組合塩釜支部・(株)栗原木工

## 養成所通信

### 第七十九回卒業式

三月二十五日、神職養成所卒業式が挙行されました。本年の卒業生は一名。父兄や御来賓、講師が見守る中、式に臨んでいました。

### ○卒業生並びに進路

近野 秀和 (福島県) 志波彦神社 鹽竈神社

## 敬神婦人講だより

敬神婦人講では設立九十年を記念して「奥州一宮御祭礼」の幟を奉納しました。



## 能登半島地震 「被災神社復興義捐金」募る

一月十四日より三月十日までに義捐金を受け付けました。寄せられた左記金額を、神社本庁を通じ被災された神社へお納めしました。御協力いただいた皆様に御礼申し上げます。 金二、七九六、四八二円也





国家安泰  
五穀豊穰  
家内安全  
祭事暦 (四月から六月まで)

毎月

一日 朔 日 祭

〃 曲木神社月次祭

六日 御釜神社月次祭

十日 鹽竈神社月次祭

二十九日 志波彦神社月次祭

四月

二十八日 鹽竈神社花まつり

二十九日 昭 和 祭

五月

十日 鹽竈サクラの日祈願祭

十一日 御神田御田植祭

十二日 氏子崇敬会春季大祭

六月

三十日 夏越大祓式

安産祈願  
海上安全  
大漁満足

消防部分訓練実施

二月二十九日と三月一日の両日、神社職員を対象に消防部分訓練が実施されました。

救命救急訓練では人工呼吸やAEDの使用など、初期消火訓練では消防ポンプの放水に取り組みました。



参拝記録

一月

十二日 仙台市・宮城縣護國神社 田中直彦宮司

〃 塩釜ロータリークラブ 十名

十三日 衆議院議員 安住 淳氏

十六日 責任役員・総代合同会

十九日 宮城県神道青年協議会

二十二日 岩沼市・竹駒神社 村田守広宮司 「大寒禊研修会」参加者 二十名

二月

二十七日 丸千 千代田水産協 五名

文芸欄

寒暁や新米。ババの粉ミルク  
 来客の知らせのありて雪を掻く  
 ジーンズを千せば潜るや春の風  
 一森山芽吹きの中の子等の夢  
 拵へて光陰新た今朝の春  
 ポスターの標語立読む六つの花  
 お日様の機嫌をみつ雪を掻く  
 買初のシューズ千里も歩むらん  
 牡蠣まつり大漁旗を法被とす  
 鑄銭釜の穴のいろいろ初ざくら

佐藤 悦子  
 菅原 和子  
 齊藤 豊子  
 佐藤 光江  
 今田 須美子  
 鈴木 ゆう子  
 上田 由美子  
 大野 みよ子  
 今野 紀美子  
 及川 源作

博物館だより

資料紹介

新収蔵資料のうちから「松嶋の景」を御紹介します。本作は塩竈・松島の景色を描いた卷子装の作品で、全長九メートルを超える画面には鹽竈神社のほか陸側から海を眺める構図で松島の島々が配され、丁寧な筆致で彩色が施されています。作者は不明ながら、江戸時代後期の鹽竈神社と鹽竈の街並みの様子がうかがえる好資料といえます。写真は、鹽竈神社周辺を描いた巻頭部分です。



銅板奉納者芳名

令和五年

十二月

東京都

前島 陽子  
他一三九名

令和六年

一月

青森県

小鹿 慎吾  
他二二七名

二月

長野県

竹谷 裕彰  
他一二二名  
(敬称略)

帰曲

小島 邦雄 殿

塩竈市藤倉  
 元総代・祭典委員会委員  
 長、鹽竈神社奉仕会副理事  
 長小島邦雄氏は令和六年二月六日逝去されました。享年九十歳。  
 謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

糸巻

能登半島地震により被災された方々に心から御見舞申し上げます。  
 (慶)